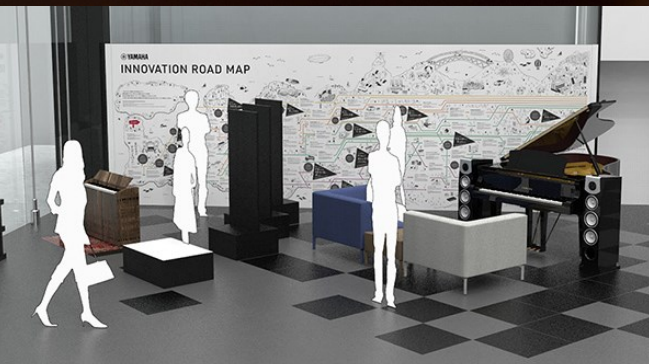


2020年3月期

第1四半期決算説明会資料



2019年8月2日
ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

()数値は前年同期比

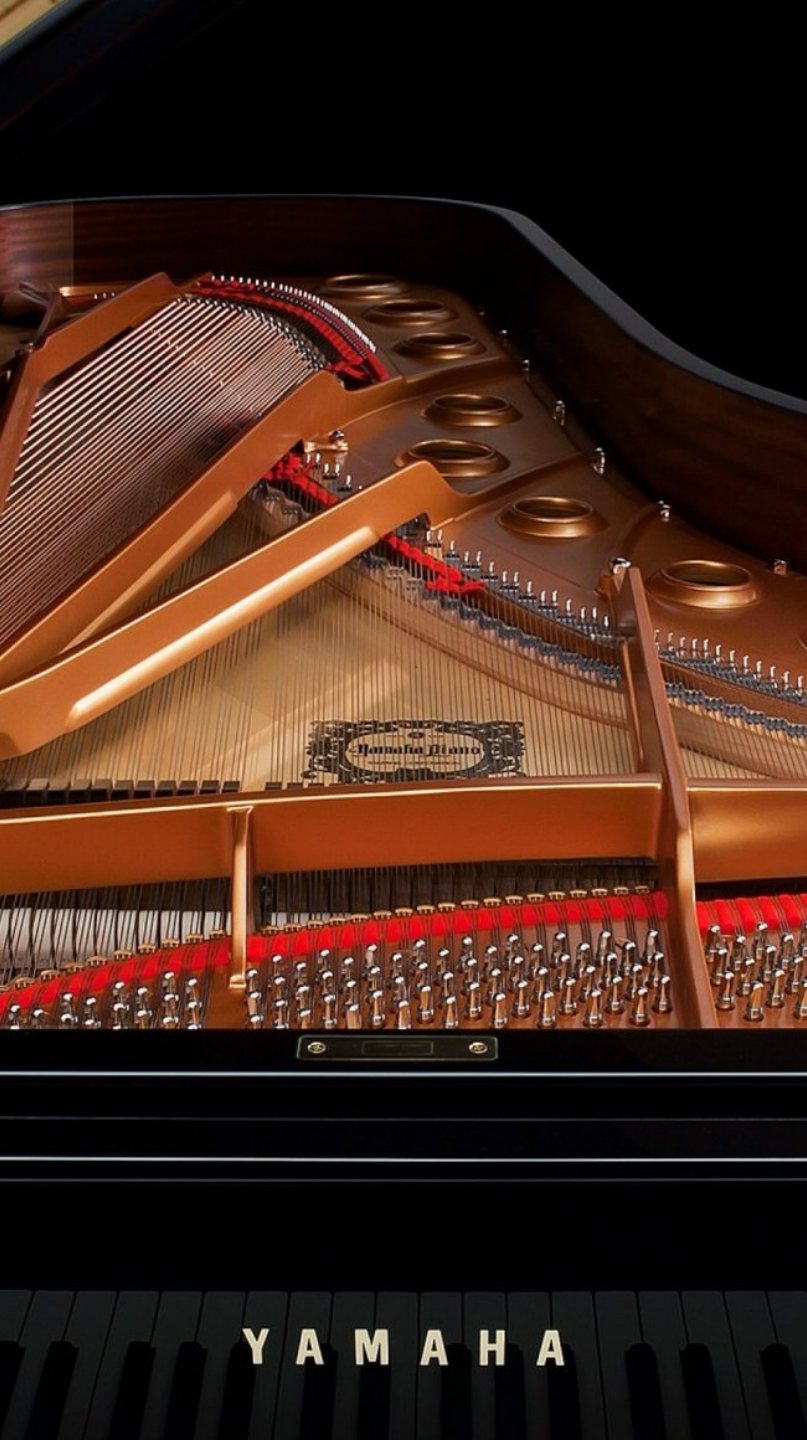
【20/3月期 1Q実績】

- ・ 対前年減収減益。部品・装置事業の市況悪化、為替影響が主因
- ・ 売上収益は995億円(▲4.8%)、事業利益は108億円(▲13.2%)

業績予想

【20/3月期 通期予想】

- ・ 前回予想(2019年5月発表)を据え置く(売上収益4,440億円、事業利益550億円)
- ・ 楽器事業は堅調を継続、音響機器事業は挽回見込む



1. 決算概要

業績概要

(億円)

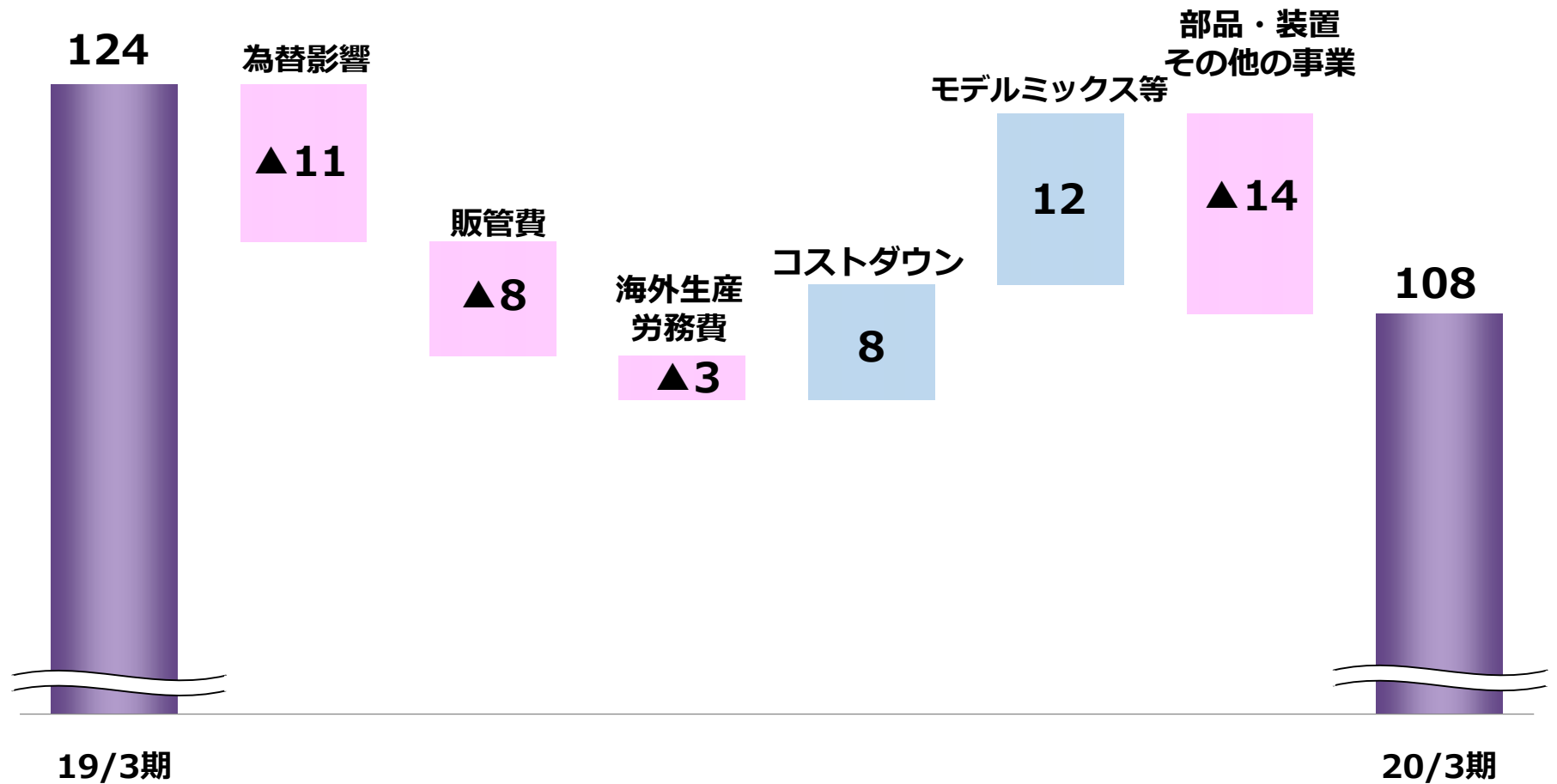
		19/3	20/3	前期比	
売上収益		1,045	995	▲50	▲4.8% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)		124 (11.9%)	108 (10.8%)	▲16	▲13.2%
当期利益 ^{*1}		95	73	▲22	▲23.2%
為替レート (円)					^{*2} ▲2.6% (為替影響除く)
売上収益 (期中平均)	US\$	109	110		
	EUR	130	123		
利益 (決済レート)	US\$	108	111		
	EUR	132	126		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		19/3	20/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	685	675	▲10	▲17
	事業利益	97	98	+2	▲7
	事業利益率	14.1%	14.6%	+0.5P	
音響機器事業	売上収益	261	248	▲13	▲7
	事業利益	13	9	▲4	▲4
	事業利益率	5.1%	3.5%	▲1.5P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	99	72	▲27	0
	事業利益	14	1	▲14	0
	事業利益率	14.6%	0.9%	▲13.7P	

通期業績予想

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

(億円)

		19/3	20/3	前期比	
売上収益		4,344	4,440	+96	+2.2% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)		527 (12.1%)	550 (12.4%)	+23	+4.3%
当期利益 ^{*1}		403	425	+22	+5.4%
<div style="text-align: right;">*2 +3.0% (為替影響除く)</div>					
為替レート (円)					
売上収益 (期中平均)	US\$	111	110		
	EUR	128	125		
利益 (決済レート)	US\$	111	110		
	EUR	131	125		

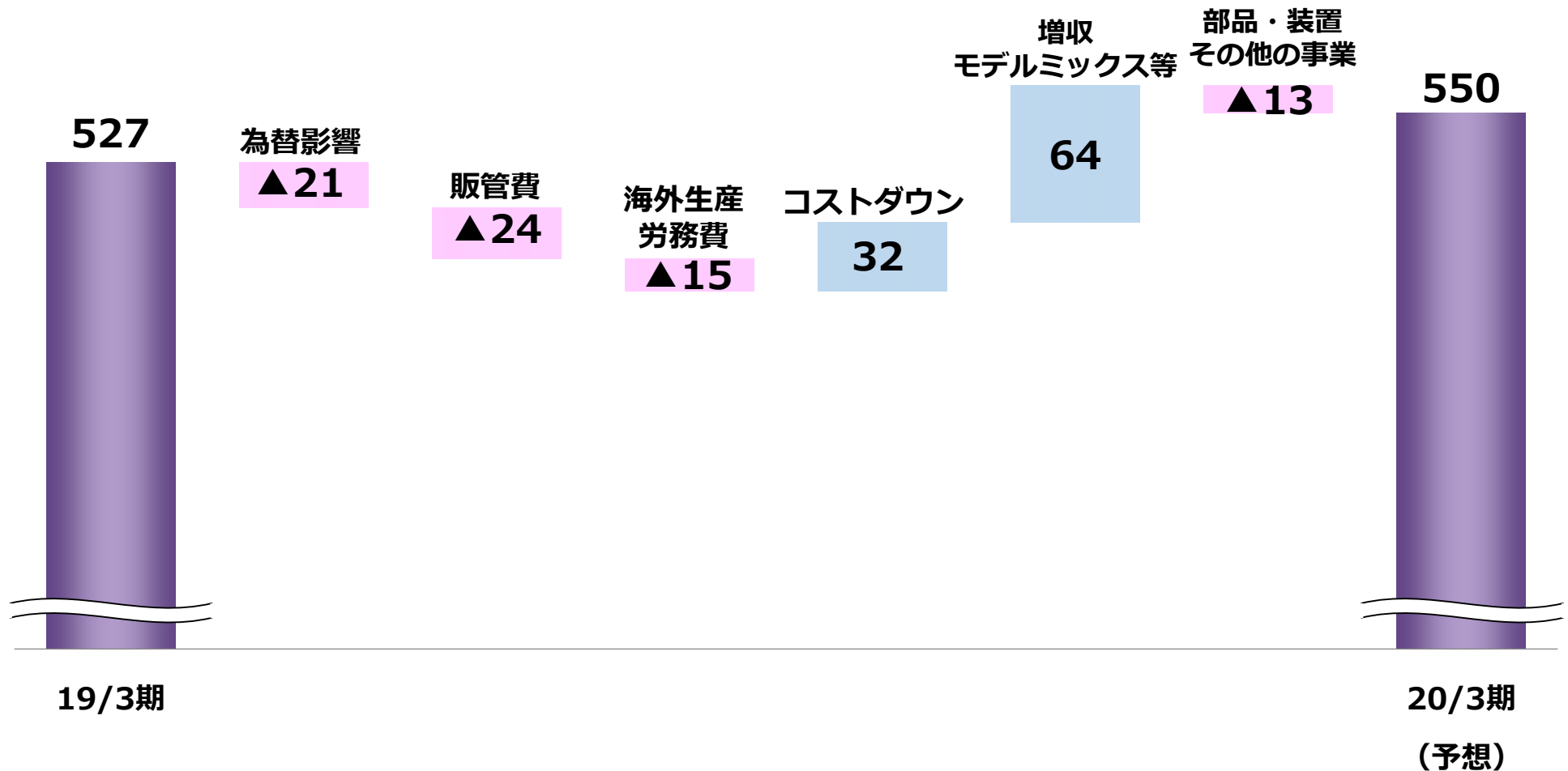
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業利益増減要因

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

前期との比較

(億円)

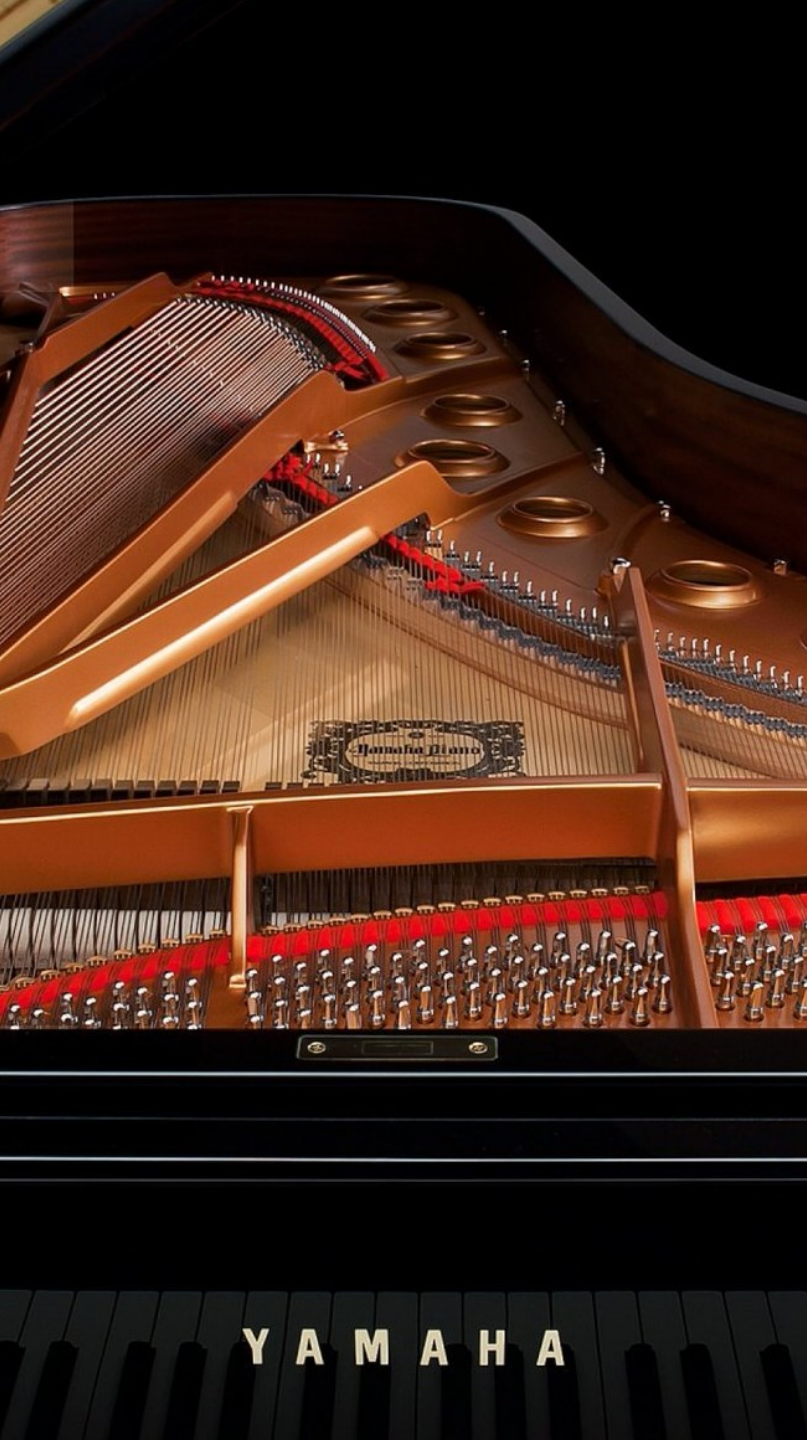


事業別通期業績予想

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

(億円)

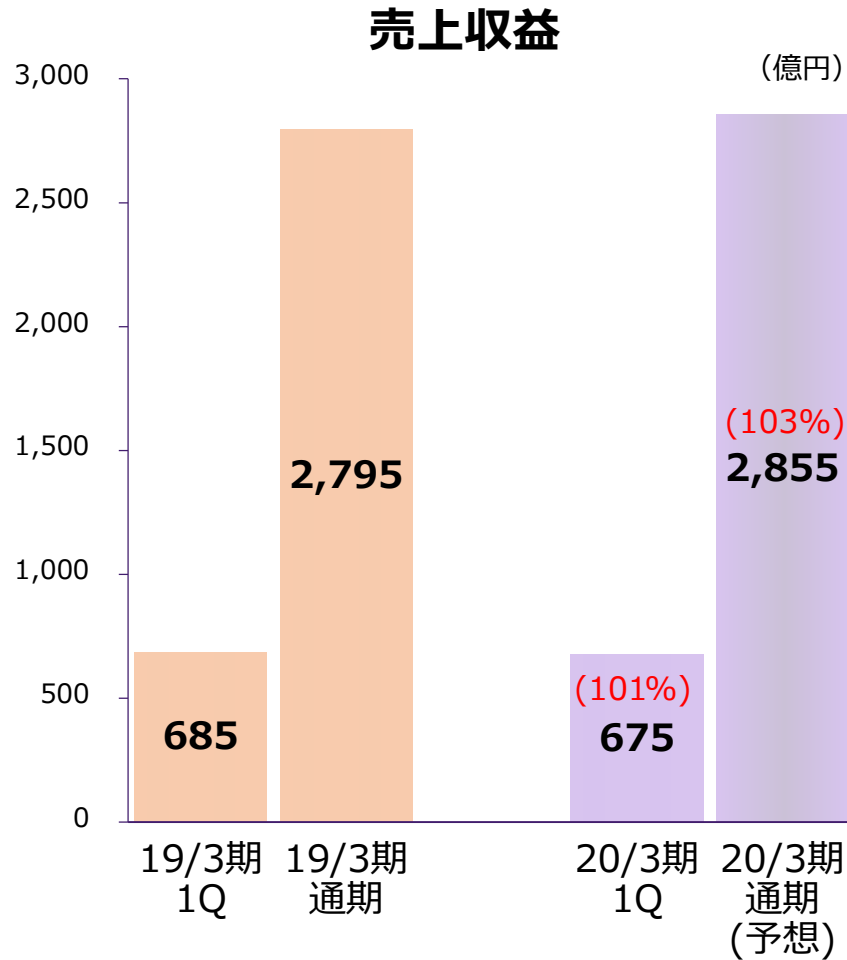
		19/3	20/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,795	2,855	+60	▲23
	事業利益	408	430	+22	▲15
	事業利益率	14.6%	15.1%	+0.5P	
音響機器事業	売上収益	1,201	1,235	+34	▲12
	事業利益	96	110	+14	▲7
	事業利益率	8.0%	8.9%	+0.9P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	348	350	+2	▲1
	事業利益	23	10	▲13	0
	事業利益率	6.7%	2.9%	▲3.8P	



2. 事業別概要

売上収益・事業利益

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

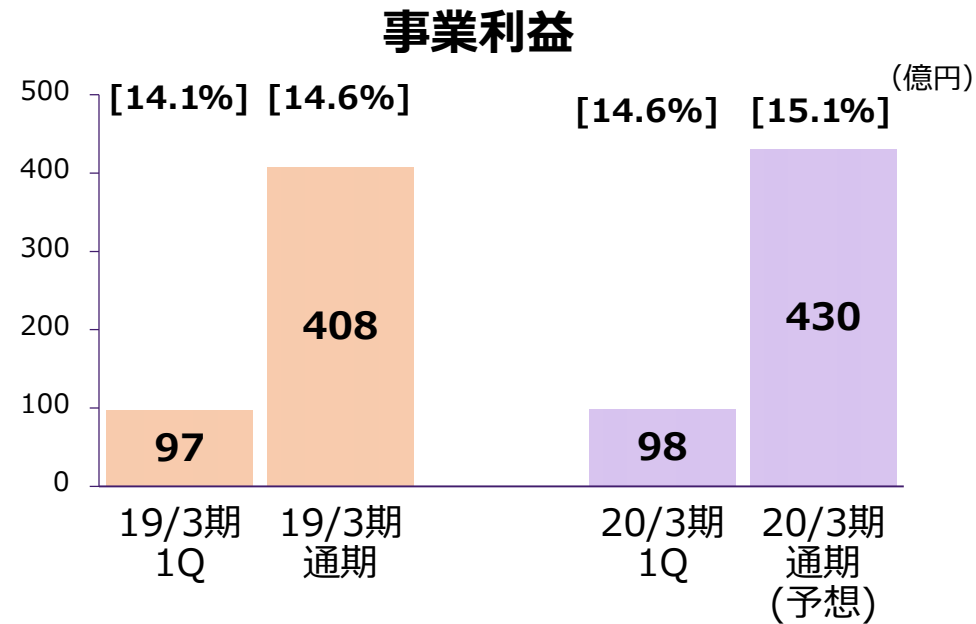


[1Q状況] 管楽器除き全商品カテゴリーで前年上回る

- ・ピアノは中国で減速するも堅調、電子楽器は堅調、管は日米で下回るも、ギターは全地域で前年上回り2桁成長
- ・北米は市況堅調も出荷タイミングのずれ、欧州は復調、中国は減速するも全商品が前年上回る、新興国は好調に推移

[通期見込] 全商品カテゴリーでの成長を予想

- ・ギターの高い成長、ピアノ、DPの堅調な伸びを予想
- ・中国の2桁成長、北米・新興国は堅調、欧州復調を予想



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

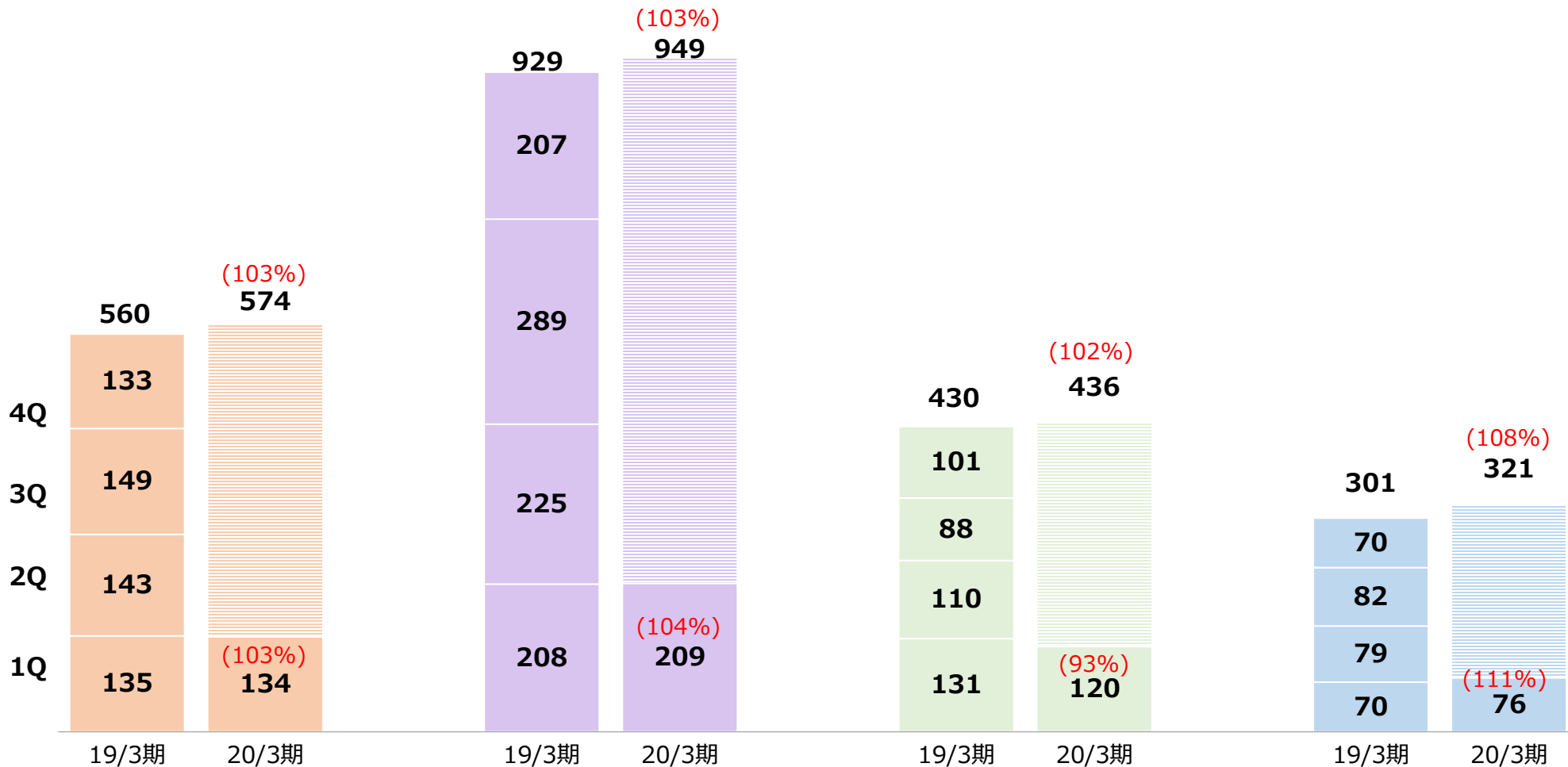
ピアノ

電子楽器

管楽器

弦打楽器

(億円)

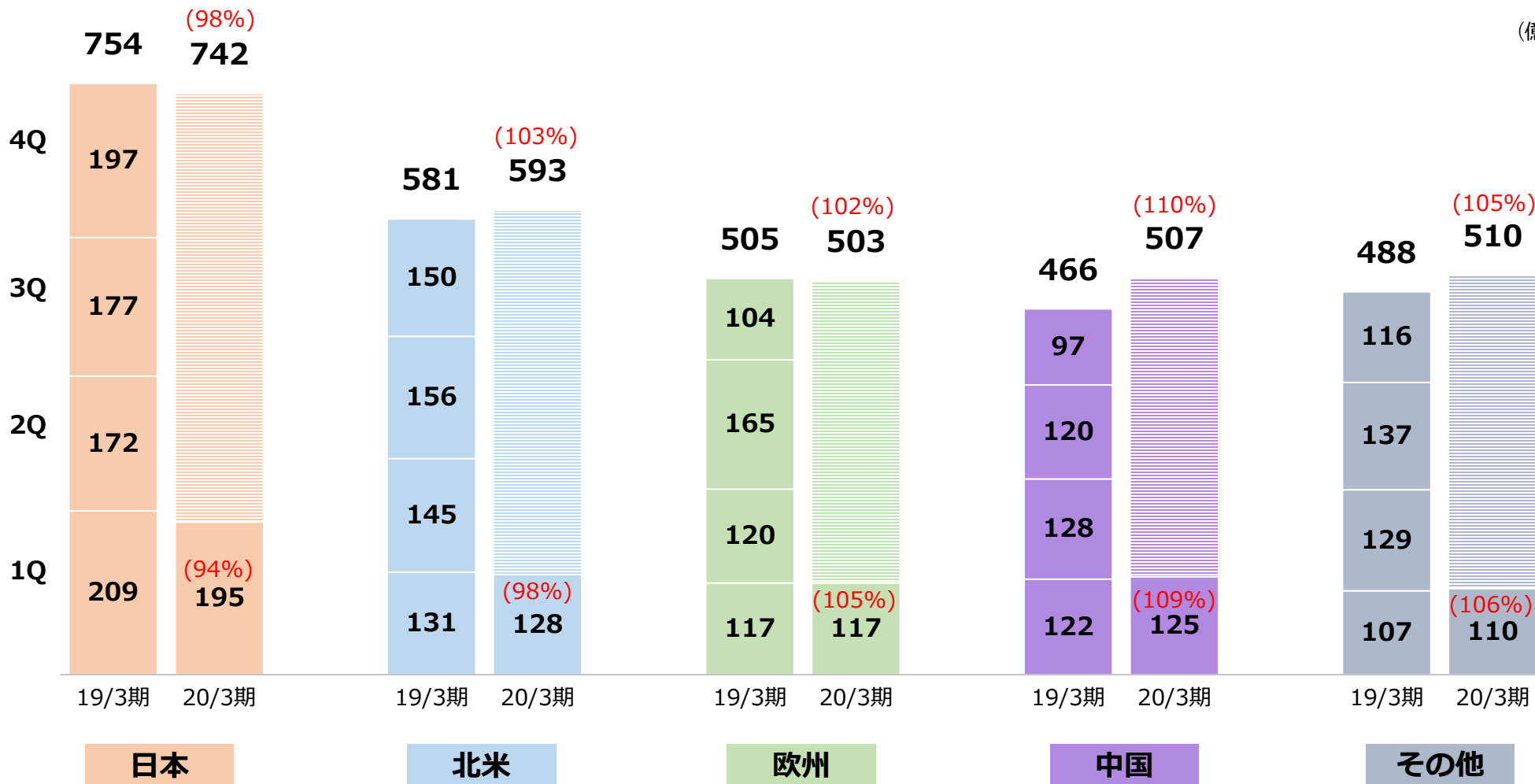


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別販売状況

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

(億円)



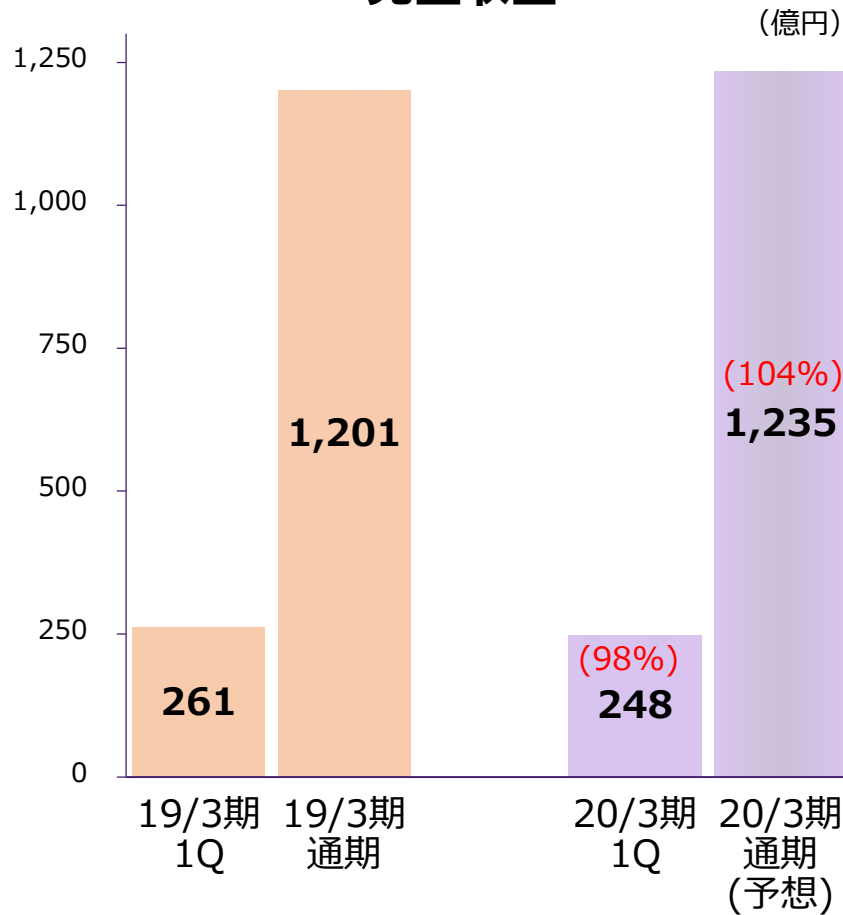
※ソフト、音楽教室等を含む

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

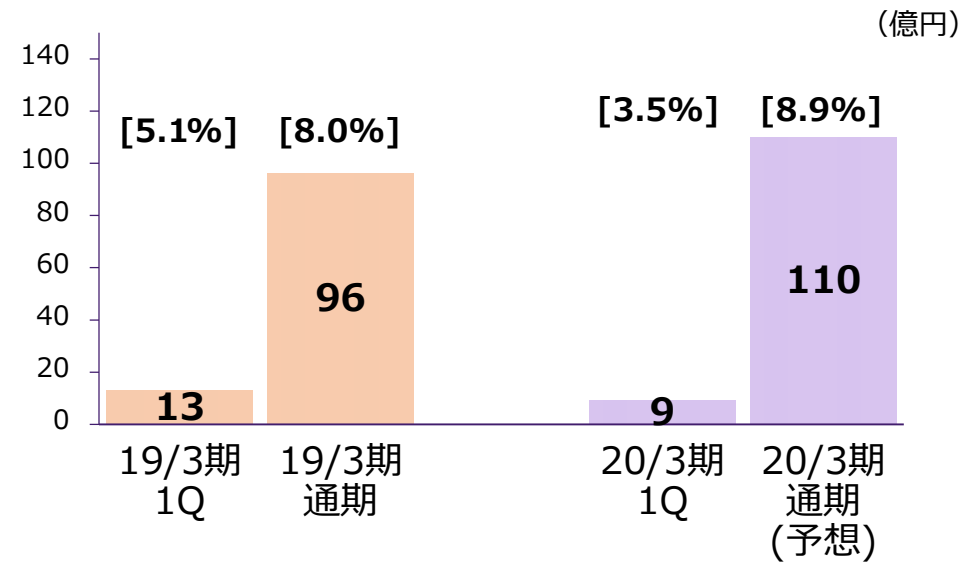
売上収益



[1Q状況] 北米はAV出荷タイミングずれ、欧州は好調
 ・AVは北米で量販店向け出荷期ずれ影響も欧州は好調に推移
 ・PAは欧米での音楽制作が牽引し、全体では堅調に推移
 ・ICTはOEM減に加え、ネットワーク機器は在庫調整で伸び悩む

[通期見込] PAの伸長、AVの復調により成長を予想
 ・AVはMusicCast、顧客接点強化、新商品投入により復調を予想
 ・PAは楽器店向け新商品投入、新興国・北米での2桁成長を予想
 ・ICTはネットワーク機器伸長も、OEM減を予想

事業利益



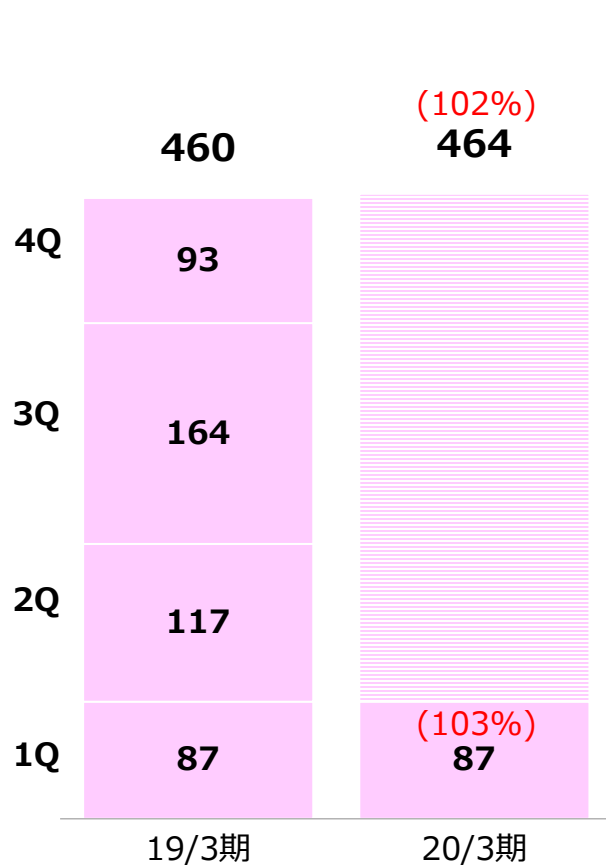
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率

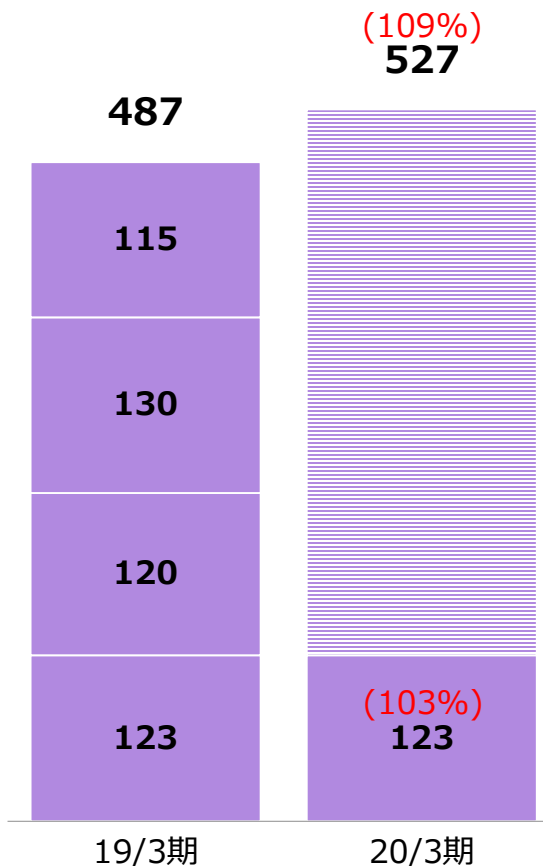
主要商品 販売状況

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

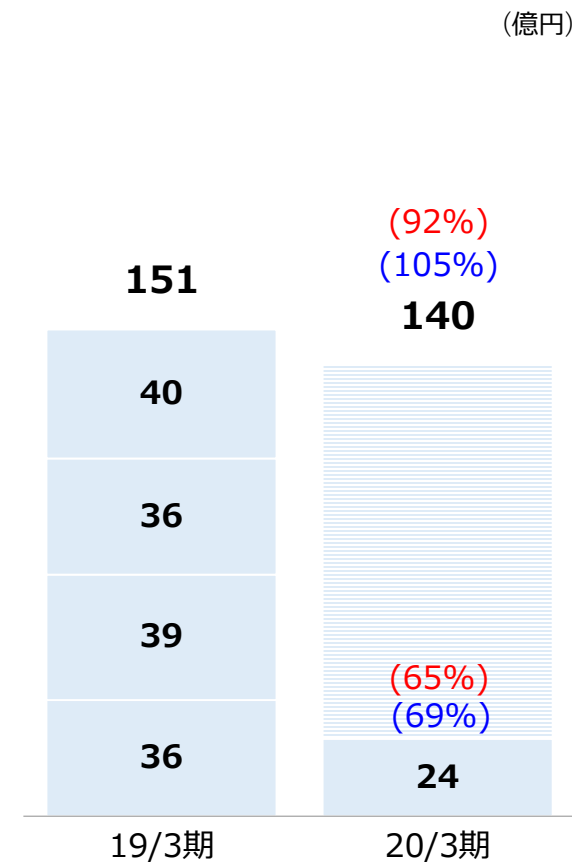
AV機器



PA機器



ICT機器



(億円)

※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

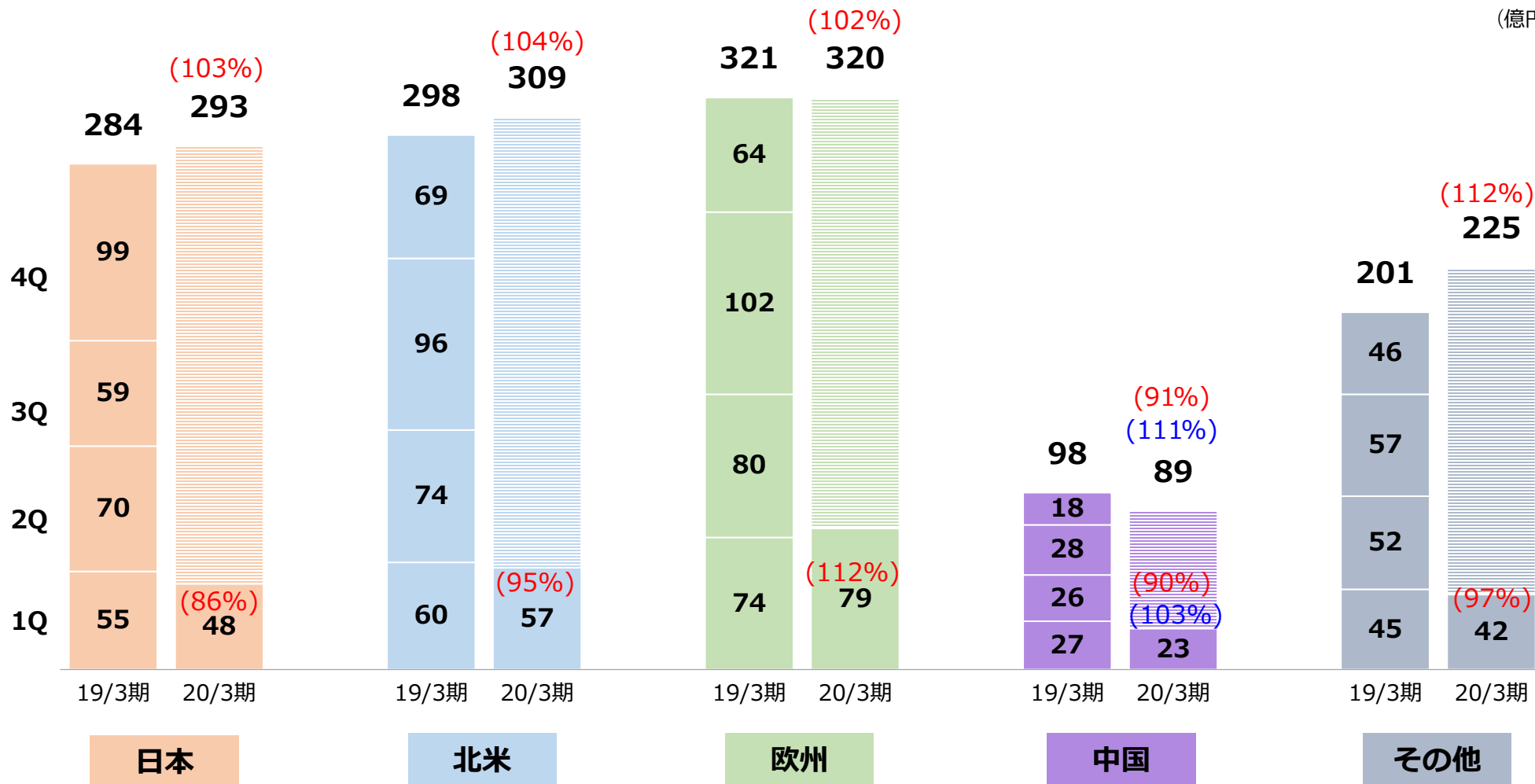
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

()内はOEM向けを除いた前期比増減

地域別販売状況

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

(億円)



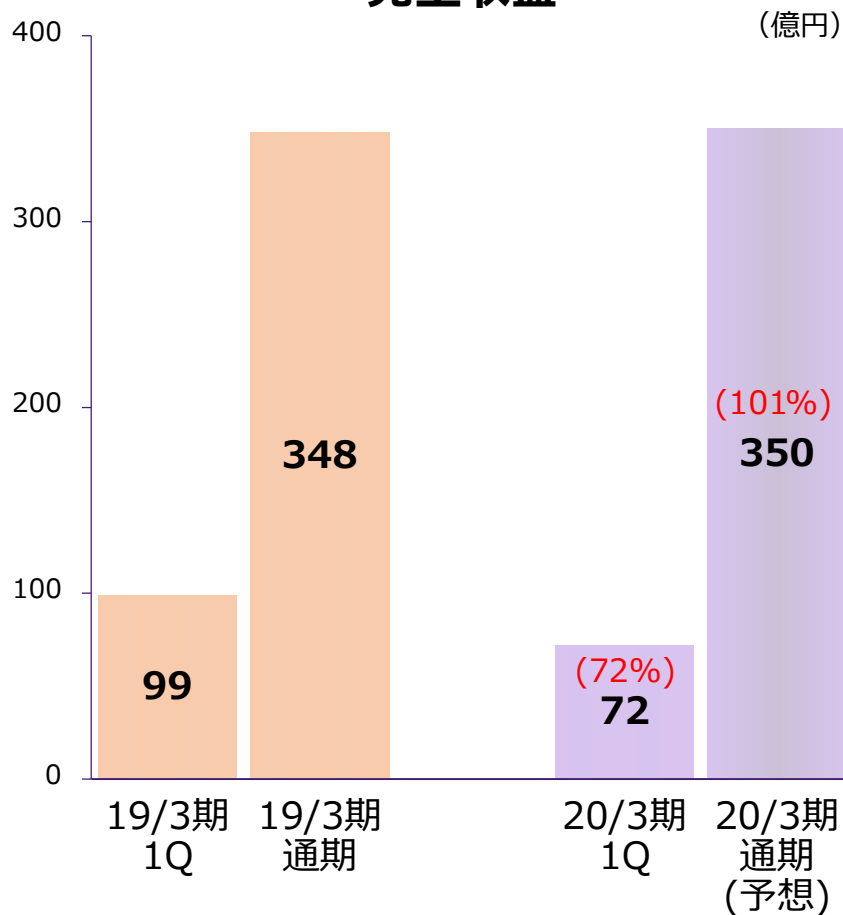
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

()内はOEM向けを除いた前期比増減

売上収益・事業利益

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

売上収益



[1Q状況]

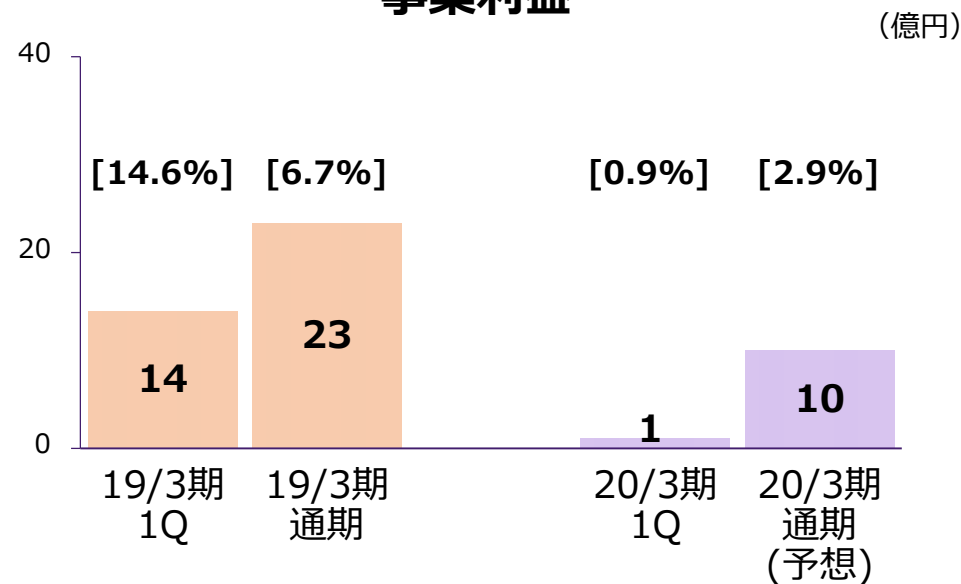
・FA機器は想定通り、特需の前年に比べ低水準

[通期見込]

・電子デバイスは車載通話モジュールの伸長を予想

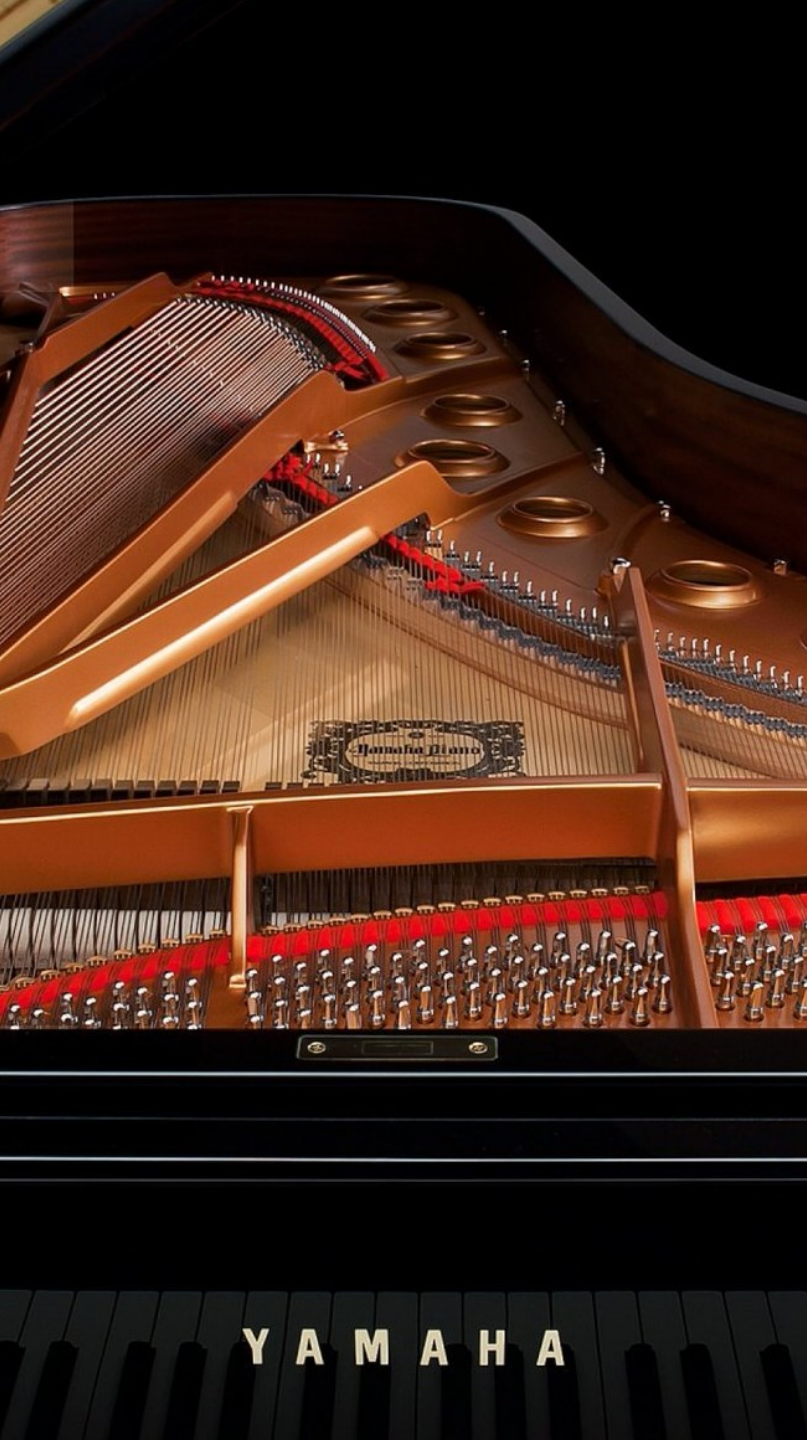
・電子デバイスの市況悪化及び車載関連への領域シフトにおける先行投資により一時的な損益悪化を見込む

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

	19/3末	20/3 1Q末	増減	20/3末 (予想)	(億円)
現金及び現金同等物	958	869	▲89	1,097	
営業債権他	653	575	▲79	696	
その他金融資産	105	103	▲2	102	
棚卸資産	1,010	1,046	+36	1,007	
他流動資産	101	106	+5	73	
非流動資産	2,331	2,238	▲94	2,526	
資産計	5,159	4,937	▲222	5,500	
流動負債	1,004	980	▲24	986	
非流動負債	565	536	▲29	599	
資本計	3,590	3,422	▲168	3,915	
負債及び資本計	5,159	4,937	▲222	5,500	

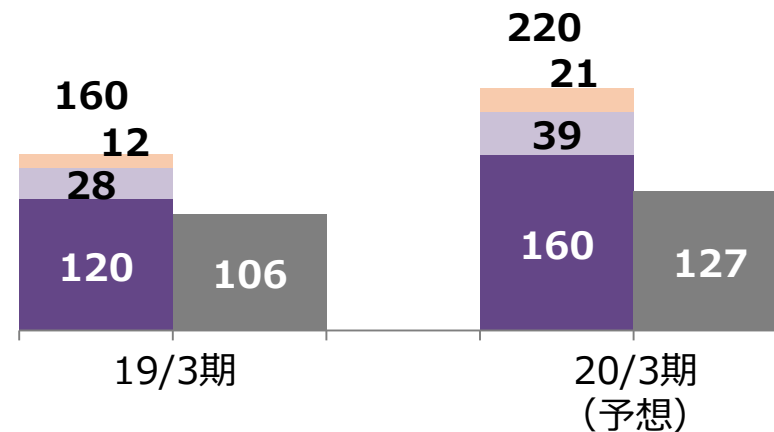
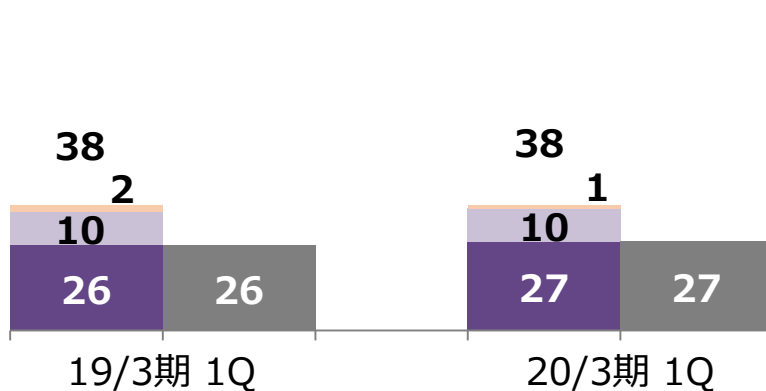
設備投資額/減価償却費/研究開発費

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

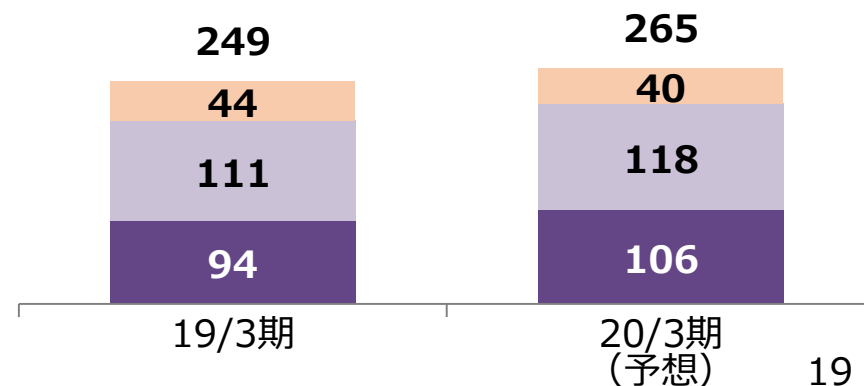
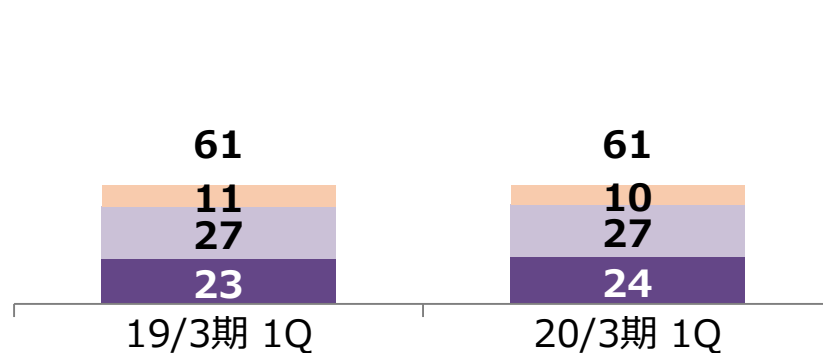
設備投資額/減価償却費

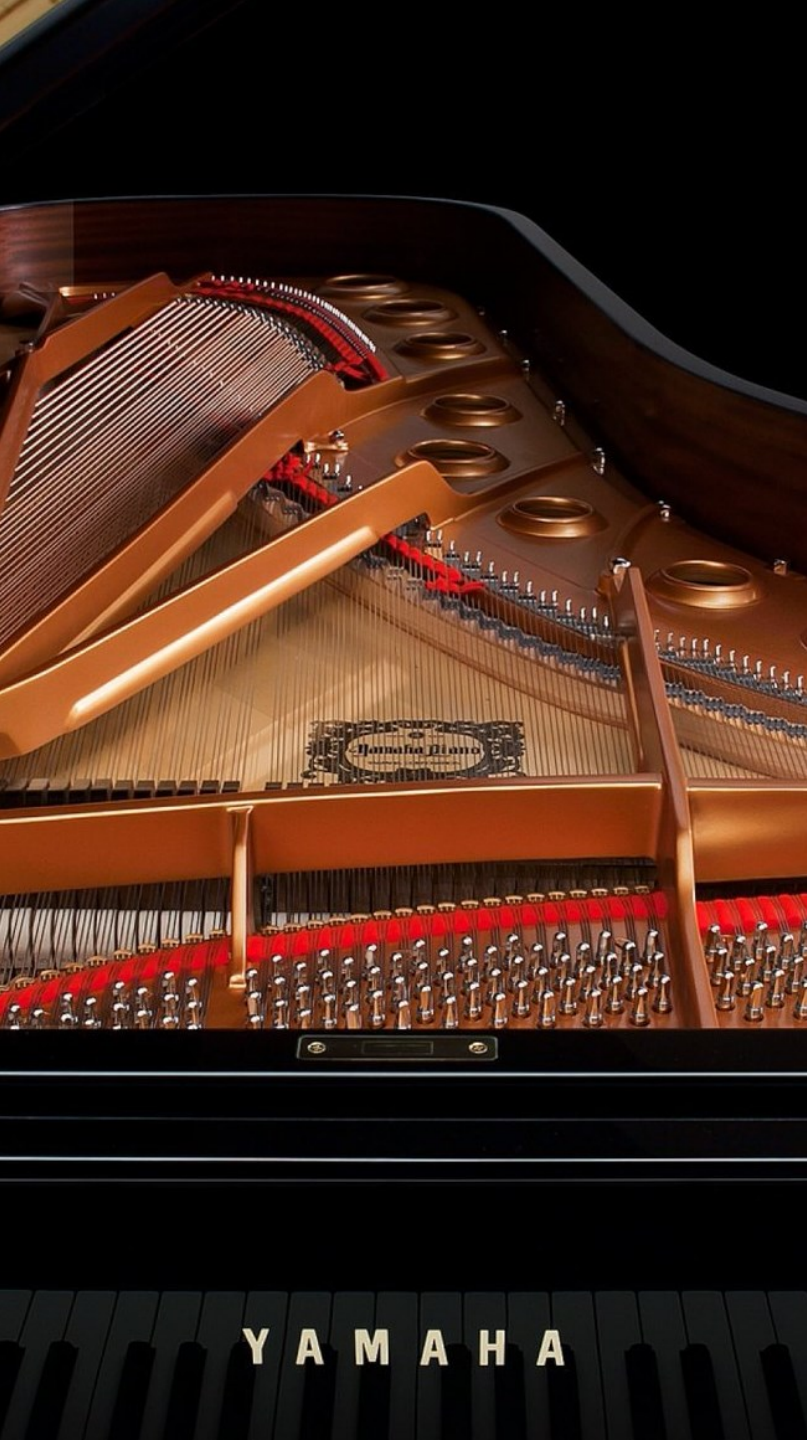
(億円)

- 減価償却費
- その他
- 音響機器
- 楽器



研究開発費





付属資料

1Q その他収支等

		19/3	20/3
事業利益		124	108
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	0	0
	その他	▲3	3
	計	▲3	3
営業利益		121	111
金融収支計	受取配当金	3	3
	その他	6	▲4
	計	9	▲1
税前利益		131	110
法人税等		31	20
法人税等調整額		5	17
非支配株主利益		0	0
当期利益*		95	73

(億円)

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

*通期予想は前回（2019年5月発表）から変更なし

		19/3	20/3 (予想)
事業利益		527	550
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	▲3	▲1
	その他	3	1
	計	1	0
営業利益		528	550
金融収支計	受取配当金	38	36
	その他	▲1	▲6
	計	37	30
税前利益		565	580
法人税等		143	150
法人税等調整額		18	5
非支配株主利益		0	0
当期利益*		403	425

(億円)

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基いており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。